

WVA ニュースレター — 2023年1月

WVA 会長からのメッセージ：ラファエル・ラガンズ



2023年、台湾・台北で開催される第9回 WVA Global One Health Summit のテーマは、ワンヘルスの必須要素である「環境」です。ワンヘルスの実施には、人の健康、動物の健康、環境の3つの重要な要素からなるマルチセクターアプローチが必要です。同様に重要であるにもかかわらず、ワンヘルスの環境的側面は、人や動物の側面に比べ、後回しにされてきました。

さらに、COVID-19の大流行により、これらの脅威を予防し、より効率的に対応するために、部門間の調整と連携を強化する必要があることが浮き彫りとされました。

このため、2020年11月、多国間主義同盟閣僚会議はFAO（国連食糧農業機関）、WOAH（世界獣疫事務局）、WHO（世界保健機関）とUNEP（国連環境計画）に対して、「One Health High-Level Expert Panel」（OHHLEP）の設立を呼びかけました。UNEPが提唱するように、健康な地球は人や動物の健康のための必須条件です。気候変動、生物多様性の損失、汚染、廃棄物という地球の三重危機は、ワンヘルスを脅かしているのです。

OHHLEPが開発したワンヘルスの定義では、人、家畜、植物、環境（生態系を含む）の健康が密接に関連し、相互依存していると認識していることに留意する必要があります。

この定義では、幸福を育み、健康と生態系への脅威に対処するため、社会のさまざまなレベルのコミュニティが多部門にわたって協力し合うことを引き続き求めています。同時に、清潔な水、エネルギー、空気、安全で栄養のある食糧、気候変動への対策、持続可能な開発への貢献という共通のニーズへの取組も求められています。

2022年3月、FAO、WOAH、WHO、UNEPはMoU（基本合意契約書）に署名し、「ワンヘルス共同行動計画（2022-2026）」において、人、動物、植物、環境の健康のために協力し、生物多様性の保護と回復、生態系と環境の劣化を防ぎ、共同で支援することを目的の一つとしています。

結論として、WVAはこのテーマを選ぶことで、検討された定義に同意し、ワンヘルスを実現するために貢献する意思を表明します。

WVA(世界獣医師会)会長
ラファエル・ラガンズ博士

FAVA ワンヘルス福岡オフィス

第44回アジア獣医師連合（FAVA）代表者会議において、日本、アジア、世界におけるワンヘルスの推進拠点として、福岡にワンヘルスオフィスを設置することが合意されました。

2022年11月9日、福岡県などの呼びかけに応じ、FAVAと福岡県との間で、アジア及び世界におけるワンヘルスの実施に向けた活動を推進するための事務所を福岡市に設置する覚書が締結されました。調印から2023年3月末までの間、まずは事務所の機能、組織、場所、設備など必要な事項を具体化する予定です。

FAVA ワンヘルス福岡オフィスは、アジア・オセアニア各国のワンヘルスに関する活動情報を収集・共有し、FAVAや各国獣医師会のプログラム企画に協力します。また、国連ハビタット福岡本部との連携も検討しています。

覚書締結後、同席した知事は、「FAVA ワンヘルス福岡オフィスが、アジアや世界の感染症対策を含むワンヘルス活動のリーダーとして機能することを大いに期待している。ここ福岡県でも、FAVA ワンヘルス福岡オフィスと協力して、ワンヘルスの推進に大きく貢献し、福岡をワンヘルスの世界的な中心地にしていきたい。」と述べました。

また、日本獣医師会・FAVA会長の藏内勇夫氏は、「来年のFAVA ワンヘルス福岡オフィス開設に向け、準備を進めていく。アジアへのワンヘルスの認知度を高めていきたい。」と述べています。



WVAは、世界の公益のための獣医師としての役割について、まとめたメッセージを世界に発信するために、皆さまの専門知識と意見を必要としています。WVAの会員及びオブザーバー会員のご意見をお待ちしています。このプロセスから取り残されないようにしてください。

このニュースレターを貴会会員に伝えてください

ご興味のある方は、下記までご連絡ください。

WVA

Rue Washington, 40, 1050 Brussels-Belgium

ウェブサイト：<http://www.worldvet.org> 電子メール：secretariat@worldvet.org

